科目名	デジタル回路1								年度	2024
英語科目名									学期	後期
学科・学年	無	:	必/選	1年次	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	三須健	三須 健吾		教員の実務経験 有			実務経験の職種		国家公務	員特別職

## 【科目の目的】

ができる技術者となることを目的とする。

## 【科目の概要】

# 【到達目標】

- A.進数変換を理解し、2進数、10進数、16進数への変換ができる
- B.基本論理回路(AND, OR, NOT, NAND, NOR, EX-OR)を理解している C.ブール代数、ド・モルガンの定理を理解している D.半加算器・全加算器、エンコーダ・デコーダを理解している E.フリップフロップ回路を理解している

#### 【授業の注意点】

↓ スポップルーのボー 投業は、オリエンテーション時における講義、および、実習中の実技で構成されている。実技指導は、実施競技のインストラクターが中心となり行うので、専門的で高度な技術修得が期待できる。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	ルーブリック レベル 5		レベル3	レベル2	レベル1			
評価	評価 優れている		ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	進数変換を理解し、それ に付随する計算や応用問 題も解ける		進数変換を理解し、それ に付随する計算もできる		進数変換を理解できない			
到達目標 B	基本論理回路を理解し、 図で表し説明できる	基本論理回路を理解し、 説明できる	基本論理回路を理解している		基本論理回路をすべて理 解していない			
到達目標 C	ブール代数、ド・モルガ ンの定理を理解し、図で 表し説明できる	ブール代数、ド・モルガ ンの定理を理解し、説明 できる	ブール代数、ド・モルガ ンの定理を理解している	ブール代数、ド・モルガ ンの定理のどちらか理解 している				
到達目標 D	半加算器・全加算器、エ ンコーダ・デコーダを理 解し、図で表し説明でき る	ンコーダ・デコーダを理	半加算器・全加算器、エ ンコーダ・デコーダを理 解している		半加算器・全加算器、エ ンコーダ・デコーダをす べて理解していない			
到達目標 E	フリップフロップ回路を 理解し、図で表し説明で きる	フリップフロップ回路を 理解し、説明できる		R-Sフリップフロップ回 路は理解している	フリップフロップ回路を すべて理解していない			

# 【教科書】

#### 【参考資料】

わかるAI・DD全資格[基礎]/リックテレコム、進捗に応じてプリントを配布。

【成績の評価方法・評価基準】

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名			デジタル	年度	2024			
	英語表記	記						義
							評価方	自己評
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル		法	
			1	デジタル・アナログ	デジタルとアナログ回路の違いを理解している。			
	デジタル・アナログ	2進数、10進数、16進数 の変換ができるようにな	2	2進数	2進数を理解し、10進数、16進数へ変換できる。			
1	とは、進数変換	3	3	16進数	16進数を理解し、10進数、16進数へ変換できる。		3	
			1	AND	AND回路を理解している。			
		AND、OR、NOT回路を理	2	OR	OR回路を理解している。			
2	基本論理回路(1)	解する	3 NOT NOT回路を理解している。				3	
			1	NAND	NAND回路を理解している。			
		NAND、NOR、EX-OR回路	2 NOR NOR回路を理解している。		NOR回路を理解している。			
3	基本論理回路(2)			EX-OR	EX-OR回路を理解している。		3	
			1 ブール代数 ブール代数を理解している。					
		ブール代数、ド・モルガ ンの定理、ベン図、カル ノー図を理解する	2 ド・モルガンの定理 ド・モルガンの定理を理解している。					
4	論理代数		3	ベン図、カルノ一図	ベン図、カルノ一図を理解している。		3	
			1	論理式	真理値表から論理式を求める。			
		真理値表から論理式を求	2	半加算器	半加算器を理解している。			
5	組合せ論理回路	めるようになる、半加算 器、全加算器を理解する			全加算器を理解している。		3	
			1	多数決・比較回路	多数決回路・比較回路を理解している。			
		多数決・比較回路、エン	2	エンコーダ	エンコーダ回路を理解している。			
6	各種のデジタル回路	コーダ、デコーダ回路を 理解する	3	デコーダ	デコーダ回路を理解している。		3	
			1	パリティチェック	パリティチェック回路を理解している。			
		パリティチェック、R-S	2	R-S FF回路	R-Sフリップフロップ回路を理解している。			
7	フリップフロップ (FF) 回路 (1)	FF回路、R-S-T FF回路 を理解する	3	R-S-T FF回路	R-S-Tフリップフロップ回路を理解している。		3	
			1	J-K FF回路	J-Kフリップフロップ回路を理解している。			
			2	T FF回路	Tフリップフロップ回路を理解している。			
8	フリップフロップ (FF) 回路 (2)	J-K FF回路、T FF回 路、D FF回路を理解する	3	D FF回路	Dフリップフロップ回路を理解している。		3	
9								
10								
								l
11								
12								
13								
14								
								l
15								
		l .		1	I .		1	

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった 備考 等